

テーマ別座談会開催状況

1 テーマ別座談会の目的

令和 2 年度を目途に策定準備を進めている次期「江南区地域福祉計画・江南区地域福祉活動計画」におけるテーマ別の目標や具体的な取り組みを検討していくうえで、地域で福祉活動に携わられている人の意見をいただくことを目的に開催する。

2 日 時 令和 2 年 2 月 13 日（木）午後 2 時～4 時

3 会 場 江南区福祉センター 多目的ホール

4 参加者

座談会種別	参加者数
高齢者	9 名
障がい	6 名
子ども	8 名
ボランティア	9 名
計	32 名

「テーマ別計画」の取り組み状況

1 高齢者

目 標 住み良いこのまちで、ずっと元気で安心して暮らしていけるようにしよう！

目標達成のための方針	具体的な取り組み	これまでの取り組み	意見・課題等
1 地域でささえあい、助け合える関係をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①これからの地域活動の主役となるコミュニティ協議会・自治会・町内会等の活動の充実を図る。 ②自治会・町内会活動で、ゴミ出しなどのニーズ調査や援助方法を検討し、役割分担をして、支援が必要な高齢者の見守りをするしくみをつくる。 ③地域住民のまとまりを強め、新住民にも地域意識を高めてもらうため、地域探訪などの行事を行うといった工夫をする。 ④大人も子どもも普段からあいさつするように啓発活動を行う。 ⑤学校を通したつき合いで子どものころから地域意識を高めるようにする。 ⑥地域の力を高めるため福祉に関する情報提供を増やす取り組みを行う。 ⑦自治会・町内会・民生委員・行政・福祉関係者による情報交換や情報共有の機会をつくる。 ⑧高齢者宅への安否確認や家庭訪問、自然災害時のパトロール活動などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域コミュニティ育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ協議会による地域の特性を活かしたまちづくり活動への支援 ①地域活動補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・自主的なまちづくり活動の促進と地域課題の解決を図る活動への補助 ②③④⑥地域包括ケアシステムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域において高齢者等を支える仕組みづくりや体制の整備 ・H27 は江南区全体（1 層支え合いのしくみづくり会議） ・H28 は大江山・横越、かめだ、曾野木・両川の 3 圏域（2 層支え合いのしくみづくり会議） ⑦避難所運営体制連絡会の開催 ⑧高齢者世帯等見守り訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・65 歳以上で介護認定を受けていない高齢者世帯等の訪問 ⑧自主防災組織強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の結成促進のための支援 ⑧避難行動要支援者支援制度 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の地域での助け合い、公的機関の救援・救助 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を地域で支えていく仕組みを構築するための地域の理解と、地域との協働 <p>【テーマ別小委員会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者には、元気な方、介護が必要な方、その中間でフレイル予防が必要な方がいるが、それぞれに見合った対応が必要 <p>【座談会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間に男性の参加者が少ない ・徒歩圏内で行ける茶の間がない ・交通の便が悪く、茶の間の送迎が欲しい ・フレイルのための体操指導者が少ない ・生活支援の担い手の不足 ・老人クラブ加入者の減少
2 地域に気軽な交流の場や交流の機会をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①エリア分けをして、交流の場の設置状況を調査し、計画を立てて設置支援をする。 ②集会所、地域の茶の間（いきいきサロン）のニーズ調査を実施する。 ③地域の茶の間（いきいきサロン）の充実を図り、交流の場とする。 ④参加しやすい地域の集会のメニュー作りとそれをつくるスタッフの育成策を練る（コミュニティ協議会などのリーダー役が必要）。 ⑤町内会や学校行事を通して世代を超えた交流の機会を持つようにする。 ⑥各種交流行事等の情報を、情報が届きにくい人にも伝わるよう、より広く提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③④⑤⑥地域包括ケアシステムの推進（再掲） ・H28 に地域包括ケア推進モデルハウス「お〜うん」を設置 ・江南区内の地域の茶の間 60 か所（H30 年度末現在） 	<p style="text-align: center;">今後取り組みたいこと （今後必要となる取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合い、支え合いの周知・啓発（寸劇・絵本など） ・男性に特化した茶の間の開設 ・徒歩圏内での茶の間の開設 ・フレイル予防につながる健康体操の普及、指導者の育成 ・生活支援の担い手の養成 ・老人クラブ同士の意見交換や情報共有の場の創設
3 地域でできる介護予防や支援の活動を充実させよう	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括ケアシステムを推進するため、多様な主体（自治会・町内会、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等）による介護予防・支援サービスの提供体制の構築を図る。 ②健康で生活できるように、介護予防や介護保険制度について、高齢者の集まる場で話しをして、アピールする。介護予防サークル活動などを周知する。 ③介護サービスを利用していない高齢者のところにも訪問して様子を確認するとともに、福祉に関する情報提供を行う。 ④認知症について話をして理解を求め、地域で見守ることができるようにする。 ⑤介護予防を強化するしくみを地域でつくる。 ⑥身近な範囲で運動教室を開催するなど、介護予防事業を充実させる。 ⑦江南区内の福祉施設、老人クラブ、病院、町内会、包括支援センター、区役所などが集まり、情報交換する場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②地域包括ケアシステムの推進（再掲） ・地域の茶の間で健康教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> ③高齢者世帯等見守り訪問（再掲） ③民生委員・児童委員による友愛訪問（社協事業） ④認知症サポーター養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症について正しく理解し、偏見を持たない認知症の人や家族の「応援者」を養成 ⑥運動を地域で普及する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防教室 ・運動でヘルスアップ ⑥骨粗しょう症予防事業 	

※「具体的な取り組み」の項目と、「これまでの取り組み」の項目を同じ番号で整理しています。

2 障がい児者

目 標 わかりあい、ふれあい、障がい児者と共に安心して暮らせるまち！

目標達成のための方針	具体的な取り組み	これまでの取り組み	意見・課題等
1 障がい児者を理解し、交流できる環境をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①協議会を設立し、啓発活動を行なう（各種障がい者団体・健康福祉課・社会福祉協議会・教育委員会・コミュニティ協議会等関係団体）。 ②障がい児者理解を深めるための機会をつくる。 ③小中学校の総合学習に、交流、福祉活動を含む学習を取り入れる。 ④障がい者施設製品販売ショップの計画を行う。 ⑤ふれあい・ささえあい交流事業に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自立支援協議会の定期開催 ②⑤ふれあい・ささえあい交流事業、区民福祉大会への参加 ②④「売店はるみどり」の定期開催 ・各種イベントを通じた障がい児者とのふれあい ・障がい者施設の授産品の紹介・販売 ③福祉教育の推進 ・小・中学校総合学習等の支援やいきいきサロン等でのボランティア出前講座 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校における障がいへの理解 ・地域や教育機関との連携強化 ・社会資源（グループホーム等）の充実 <p>【テーマ別小委員会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいには、障がい者が地域で生活ができるための自立支援や障がい児への育ちの支援が必要 <p>【座談会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と障がい者が支え合う場 ・障がい者が活躍できる場 ・当事者の声を地域のしくみにいかす ・公共の居場所がわからない ・サービスを受ける場所までの移動手段
2 ネットワークをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①関係各機関の関係者が顔を合わせる場を設ける。 ②情報格差の解消をはかる（点字、IT、音声、手話等の情報の充実）。 ③区内の人的交流をはかるネットワークをつくる。 ④施設へのボランティア参加に参加する。 ⑤障がいをもつ方のご家族間での交流・意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保育・教育機関とのネットワークの構築 ・障がい児セミナー開催 ・関係機関による障がい児支援連絡会の定期開催 ③障がい福祉と介護保険関係者とのネットワークの構築 ・地域包括支援センターとの意見交換会の開催 	<p>今後取り組みたいこと (今後必要となる取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献できる場所の確保 ・生活の場としてのグループホームと働く場の確保 ・福祉施設ができることを発信する ・社会資源の充実と周知 ・地域のニーズと障がい者就労をつなぐしくみ ・障がい者が支える役割を持てるようなしくみ（障がい者からの支援の提供） ・障がいを理解してもらうために、福祉大会で「障がい」をテーマにする
3 障がいのある人もひとりで生活できる環境をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①障がい児者の実態・ニーズの調査をし、把握する。 ②障がいの特性に合わせた施設建設を促進する。 ③各種団体やグループで、まち点検を行なう。 ④事業の企画段階から障がい児者が参加できるようなシステムをつくる。 ⑤企業・事業者と障がい者の相互理解の場をつくり、就労につながる支援を行う。 ⑥要援護登録後に担当が決まり、お互いが確認できる状態にする。 ⑦自立支援協議会を運営する。 ⑧見守り声かけ活動を実施する。 ⑨地域活動支援センターの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ①障がい児アンケート調査の実施（保育園、幼稚園、小中学校、ひまわり等） ②新規相談支援事業所開設支援に向けた検討、関係施設へのヒアリング調査 ⑥⑧自主防災組織強化事業（再掲） ⑥⑧避難行動要支援者支援制度（再掲） ⑦自立支援協議会の定期開催（再掲） ⑨地域活動支援センター (既存 1 か所、新規 3 か所) 	

※「具体的な取り組み」の項目と、「これまでの取り組み」の項目を同じ番号で整理しています。

3 子育て

目 標 子どもたちの心とからだを育てるため、笑顔と信頼で一緒につなごう！

目標達成のための方針	具体的な取り組み	これまでの取り組み	意見・課題等
1 世代を超えて子ども達に目を向けよう	<ul style="list-style-type: none"> ①防犯パトロールの活動を各地区へ広め、地域と連携しながら活動してもらう体制をつくる。 ②多世代・異年齢の交流の場やイベントを開催する。 ③いつでも、どこでも、だれもがあいさつできるように雰囲気づくりとPRをする。 ④子育てを終了した方や時間の余裕のある方からの協力を得て、子育てサポーターを育成する。 ⑤避難訓練・不審者対応訓練などの、防災・防犯訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもを犯罪から守る安心・安全対策連携会議 ・将来を担う子どもの安心安全な生活環境の保持 ①安心・安全な地域づくりの推進 ・区内8コミ協で防災訓練、防犯パトロールを実施 ②子ども・子育て支援制度推進事業 ・放課後児童クラブに地域コミュニティ協議会をはじめとする地域が関わる仕組みづくり ③④「地域で子育て～見守る目、見守る心～」 ・「こども・子育て応援バッジ」の配付、講演会・交流会の開催 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを支援するという気持ちの定着 <p>【テーマ別小委員会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもには、子育て支援と子どもの育ち支援が必要 <p>【座談会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の母親の孤立の解消 ・災害時の避難（赤ちゃん連れ） ・支援する側の共有が必要 ・地域支援の高齢化 ・世代を超えた交流の必要性 ・子どもたちの生活環境が見えない、把握できない
2 子育てしやすい環境をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな子どもたちが参加・交流できる場を関係機関・団体が協働して企画する。（例：日常的に「遊び」の伝達ができる場所をつくる／身近な場所で多世代交流の場を設置する、など） ②親が積極的に自主的に参加できる講演会や講習会を企画する。 ③親子がいろいろな場所（体育館・公民館等）で安心してふれあい、学べる催し物をする。 ④親子同士、親同士が、互いに学び、ささえあえるサークルづくりを支援する。 ⑤子どもの年代に応じた情報が、必要な人に届くように、PR方法を工夫する。 ⑥地域の施設を気軽に多様に活用できるようにし、地域での親子のふれあいや対話を深められるようにする。 ⑦近隣保育園・幼稚園同士の交流会を行う。 ⑧園解放を通して、子育ての悩み相談を受けたり、在宅児・保護者との交流会を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①⑤江南区福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進 ・「子どもたちの居場所」を拠点に、自主イベントの企画・実施などの支援 ②家庭教育学級 ・乳幼児期や児童期など、各世代における課題について学びあえる家庭教育講座を実施 ③④地域子育て支援拠点事業 ・地域での子育てを支援するため、親子が遊びながら相互の交流を行う居場所の提供 ・保護者の子育てに対する不安・悩みを解消するための相談、情報提供、助言 ⑤「地域で子育て～見守る目、見守る心～」 ・江南区子育て検索情報アプリによる情報の発信 ⑧保育園の地域交流 ・地域の方を保育園行事への招待や、園児以外の児童や異年齢交流などを通じて、地域交流を実施 	<p style="text-align: center;">今後取り組みたいこと (今後必要となる取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期～産後の母親、家族への支援 ・災害時に対応するための講座 ・支援をする側の情報の共有、ネットワーク化 ・世代を超えて交流できる行事やイベント ・防災訓練などで小中学生の役割を創出 ・子ども食堂 ・ひきこもりの子どものためのフリースペース
3 子どもたちが育つ力をはぐくもう	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな子どもたちが、参加・交流できる場を関係機関・団体が協働して企画する。 ②「食」を含め「健康」に関する『フェア』や『シンポジウム』などのイベントをする。 ③日常的に「遊び」の伝達をする場をつくる。 ④児童館など子どもの居場所を利用し、世代間交流と体験の場をつくる。 ⑤幼児のやさしい体育遊び講座、ふれあい遊びやコミュニケーションのイベントを開く。 ⑥大人と子どもで歩く催しや、みんなでからだを使って遊ぶ機会を持つ。 ⑦江南区福祉センター内の「子どもたちの居場所」の運営ルールづくり、自主イベントの企画等、中高生の活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①⑦江南区福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進（再掲） ①地域子育て支援拠点事業（再掲） ③⑤⑥ほっとスマイル！親子ふれあい応援 ・子ども自身の育つ力を育み、子どもたちが健やかに育つよう、心と体のふれあいを実感できるイベント等を実施 ④⑤亀田東児童館運営事業 ・地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、子ども達への健全な遊びや情報を提供 ④⑤子ども体験教室 ・子どもたちが仲間同士の様々な活動をとおして、助け合い等を学ぶ 	

※「具体的な取り組み」の項目と、「これまでの取り組み」の項目を同じ番号で整理しています。

4 ボランティア

目標 ボランティアの裾野が広がり、人と人とのつながりのあるところ豊かなまちにしよう！

目標達成のための方針	具体的な取り組み	これまでの取り組み	意見・課題等
1 ボランティア活動をささえる拠点を整備し、活動の情報を発信し、みんなが活動に関わることができるようにしよう	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動の拠点となるボランティア・市民活動センターを活用する。 ②ボランティア活動をする人も、ボランティアの支援を利用する人も分かりやすい情報を発信する。 ③江南区内のイベントで、ボランティア活動の内容を紹介する。 ④親子一緒にボランティア活動を促進し、ボランティア意識の向上を図る。 ⑤色々な世代が参加しやすいように、ボランティア活動の方法を工夫する。 ⑥退職した男性や団塊の世代に、ボランティア活動への参加を呼びかける。 ⑦色々な目的を持った方の活動を知る「つどい」や「情報交換会」を開催する。 ⑧ボランティア未経験者を対象としたものから専門性の高いものまで、色々なボランティア講座・研修や体験の場を作り、ボランティア活動に対する興味や意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③⑤ボランティアルームの整備と有効活用 ・パネル等を増設し、各種団体のボランティア情報の掲示や月1回のボランティアサロンの開催 ⑦⑧福祉教育の推進 ・小・中学校総合学習等の支援やいきいきサロン等でのボランティア出前講座 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動者が高齢化、固定化しており、次世代の活動者の発掘 <p>【テーマ別小委員会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアの育成が必要 <p>【座談会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枠にとらわれない活動 ・ボランティアしたくても、そこまで行けない（送迎が必要） ・どのようなボランティアがあるかわからない ・ボランティアの情報を知らない ・ボランティアを楽しみや喜び、達成感につなげる ・需要と供給のバランスがうまくいかない
2 地域福祉を活性化し、みんなが助けあう関係をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ①隣近所の助け合いの延長のボランティアを増やす。 ②ボランティアをする側、ボランティアをしてもらう側と分けず、協働して活動する。 ③障がいのあるなしに関わらず、自分のできることを通して地域に参加する。 ④いきいきサロンを多目的に利用する。 ⑤ボランティア活動の利点等を話し合うことができる機会をつくる。 ⑥各種団体がボランティア活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②⑤「助け合いの学校」の開催 ・手助けが必要な人と手助けができる人が「お互いさま」と気軽に助け合いができるように支え合い・助け合いの仕組みづくり（ボランティア活動者の発掘） ②⑥ボランティア・市民活動センターの運営 ・ボランティア相談対応 ・ボランティア講座の開催（傾聴ボランティア講座、ボランティアガイダンスなど） ④福祉教育の推進（再掲） 	<p>今後取り組みたいこと （今後必要となる取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ってもらうための取り組みを進める ・主婦や定年した人たちを担い手として育成する ・中学校など子どもを通じた（親も含めた）ボランティア教育の充実 ・子どもたちを引っ張り、楽しくボランティアを行う ・楽しそうにボランティアを行う ・頑張らないで続ける ・情報の提供はペーパーだけでなく、SNSなども利用する
3 災害時や緊急時に対応し、安心安全な地域での生活を送ることができる支援体制を整えよう	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時のボランティアの窓口を明確化する。 ②災害時に対応できる人材育成の場を作り、積極的に広める。 ③災害時や犯罪・虐待等の緊急時に対応するため、地域で声かけや見守り等の気運をつくる。 ④災害時に効果的な活動ができるように、自治会・町内会や自主防災組織を中心として、ボランティア組織との交流を持ち、ネットワークの構築を図る。 ⑤災害時要援護者名簿の作成と支援体制の確立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②災害ボランティアネットワーク委員会の設置 ・災害ボランティアセンター設置訓練の実施 ・災害ボランティアセンター研修会の開催 ③防災訓練事業 ・災害発生時の初動迅速化や防災意識啓発に向け、住民参加の防災訓練を実施 ④自主防災組織強化事業（再掲） ⑤避難行動要支援者支援制度（再掲） 	

※「具体的な取り組み」の項目と、「これまでの取り組み」の項目を同じ番号で整理しています。